



著者プロフィール

井上弘美 (いのうえ・ひろみ)

1953年 5月 京都市生まれ

1984年 関戸靖子に師事

1991年 「泉」新人賞

1992年 句集『風の事典』上梓

1999年 第2回朝日俳句新人賞準賞

第7回深吉野賞佳作

「泉」同人・「聲」会員代表 俳人協会会員
京都市立紫野高等学校勤務

〈句集『おをぞら』より転載〉〈2002年7月10日時点〉

『おをぞら』(自選十五句)

井上 弘美

横顔の引き絞られる弓始
降りてくるときやはらかき風の脚
卒業の空のうつれるピアノかな
子を食ひし口をぬぐへり壬生の面
オルガンを日向に運ぶ花まつり
弟をおんぶして来るさくらかな
疲れ鶉の首から籠に入りけり
夏料理ましろき紙のかぶせある
病み抜いては母は螢となりけり
次の鉢までを静かに歩きけり
つれてゆく子の欲しかりし螢狩
八月の波のいちまい伸びて来し
黒葡萄祈ることばを口にせず
てのひらに塩うつくしき近松忌
倒立の足を揃へぬ冬青空